

一戸町商工会経営発達支援計画事業評価表

外部評価者による事業評価 (事業評価委員会)	項目	評価				総合評価
	I. 経営発達支援計画事業の内容					B B評価 (4人) C評価 (1人)
1. 地域の経済動向調査に関すること	A (5人)	B	C	D		
2. 経営状況の分析に関すること	A	B (4人)	C (1人)	D		
3. 事業計画の策定支援に関すること	A	B (5人)	C	D		
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること	A	B (5人)	C	D		
5. 需要動向調査に関すること	A	B	C	D (5人)		
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	A	B	C	D (5人)		
II. 地域経済の活性化に資する取り組み	A	B	C (1人)	D (4人)		
III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取り組み						
1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	A (5人)	B	C	D		
2. 経営指導員等の資質向上等に関すること	A (5人)	B	C	D		
3. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	A (5人)	B	C	D		

令和2年度事業全体のコメント

- ・コロナ禍により実施できなかった事業もあるが、これらの事業については自助努力ではどうにもならないものであることから、対象から外して総合評価をした。経済動向調査など事業内容の充実したものも複数あり、総合評価はB判定とした。
- ・各項目の事務局評価結果は、AからDまで、幅のあるものとなっている。その背景には、新型コロナウイルス感染症に伴う影響で、緊急性の高い事業への対応が求められ、職員の業務量が多くなったことが挙げられる。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、集団セミナーの実施や物産展・商談会等への出展が困難となり、その代わりに各事業者を対象とした個別指導に重点をおいて支援が行われ、その結果、一定の成果を残した点に注目すべきだと思われる。
- ・令和2年度は、全世界的な新型コロナウイルスの影響により、物産展、展示会の開催・参加が困難であり、事業推進に非常に苦しい年であったと思う。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響がある中、関係機関と連携して町内事業者への支援を行いながら、地域経済の活性化等に資する取組についても積極的な実施を図っており、大変評価できる。
- ・町内事業者の事業計画策定に対する関心が低いと思われるため、事業計画策定へのメリットへの周知を図ることが必要だと思われる。
- ・集団型のセミナー開催における受講者確保に苦慮しているようですし、直接かつ具体的な個別指導を期待する事業者が多いものと思われます。これまでの状況を踏まえ、個別型重視で進めていただいて構わないと思います。
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う影響調査結果を、可能であれば従来からの課題と切り分けた形で共有していただきたく願います。

令和3年度に向けた改善点

- ・新型コロナウイルス感染症の終息状況によるが、町内イベント参加等、対外的な活動を必要とする事業もあり、場合によっては計画の一部を見直すなど、事業の柔軟な実施が必要ではないか。
- ・令和2年度と同様に、新型コロナウイルス感染症対策関連事業の実施、商談会やセミナー開催が困難な状況などが続くものと思われるが、引き続き個者支援に力を注ぎ、持続的な経営や事業承継に向けた支援を継続していただきたい。
- ・集団セミナーについて、WEB研修実施も検討の余地があるのではないか。各種計画策定に関する内容で、青年部や女性部、各部会の活動の中で実施してはどうか。
- ・観光客ニーズ調査の実施、展示会アンケートなど、町と連携した実施、地元のショッピングセンターやイベント催事等での実施など検討の余地があると思われる。また、SNSを活用し、アンケートに答えていただく方式についても検討の余地がある。
- ・商談会や物産展等の開催が中止の傾向にある中、バーチャル物産展の情報を把握し、出展支援について取り組む余地があるので、ご検討いただきたい。
- ・実際の出展が困難でも、今後の出展に向けて、前段階の支援として、専門家同行の企業巡回相談・指導の機会を持ち、ステップアップを図ることも重要と思われる。
- ・東京や仙台の商談会、物産展等への出展が困難でも、二戸市、盛岡市、八戸市など日帰り対応が可能な催事等への出展支援について、情報収集と支援の検討を進めてほしい。
- ・商談会に出店するほどの規模感の無い事業所でも、ふるさと納税への返礼品としての対応が可能なケースがあると思われるので、掘り起こしと支援の余地があると思われる。

- ・新型コロナウイルスの影響動向、様子を見ながら、各団体と連携しつつ、販路拡大に資する事業展開が必要だと思われる。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響は来年度以降も継続すると思われるので、関係機関と連携しながら、町内事業者の実情に応じた支援を引き続きお願いしたい。
- ・事業計画策定後のフォローアップ等の内容、あるいはフォローアップ等による成果がある場合、合わせて報告書に付記いただきたいと思います。（例、売上向上、経営改善状況など）

今後に向けての対応

- 令和3年度についても、引き続き新型コロナウイルスの影響により、事業推進に難しい年になると思われるが、評価委員から指摘のあった事業について、見直しを図り、事業の改善を図る。
- 未実施の内容を含め、見直しを図りながら事業を実施していく。
- 職員の減少により、既存事業、受託事業等、事業の見直しによる事業の廃止や峻別、縮小をしていかなければ、計画の目標達成は、非常に難しいと考えるのため、計画的な事業推進を図るよう取り組んでいく。